

(総務警察委員会)

請願第1号

大規模広域防災拠点等の整備に関する請願書

紹介議員 斎藤 有紀 (代表)

永田 恒	小村 尚己	粒谷 友示
川口 信	浦西 敦史	田中 惟允
芦高 清友	川口 延良	荻田 義雄
金山 成樹	池田 慎久	中野 雅史
疋田 進一	西川 均	山本 進章
若林かずみ	乾 浩之	井岡 正徳
伊藤 将也	米田 忠則	

《要 旨》

五條市における大規模広域防災拠点等の整備を、大幅な変更がなく、当初の理念に従って実施していただきたい。

山下知事が事業の見直しを表明されたことに対し、五條市議会は、令和5年6月22日付で意見書を提出したところであるが、本年1月24日になって突然、当該建設予定地に再生エネルギー（太陽光）による大型電源施設や備蓄倉庫、ヘリポートを整備するとの方針が発表された。

これは、用地協力をした地権者や地元住民の意思を裏切るだけでなく、五條市民の安全・安心、さらには南和地域の住民の安全・安心、ひいては紀伊半島全域における住民の安全・安心のための備えを後退させるものであり、到底受入れることはできない。

奈良県が進めてきた大規模広域防災拠点等の整備に対し、五條市議会は、令和3年12月議会において特別委員会を設置して鋭意検討を進めてきたところであり、奈良県からは、今後高い確率で発生が予想される南海トラフ巨大地震への備えに資する事業であるとの説明を受けており、この度の方針転換は、非常に遺憾である。

奈良県においては、再生エネルギー（太陽光）による大型電源施設の整備方針を撤回するとともに、本市における大規模広域防災拠点等の整備を当初の理念に従って（滑走路の

是非については、議論の余地あり) 進められるよう、強く求めるものである。

記

- 1 大規模広域防災拠点整備予定地において、全国的に災害、環境、景観等のトラブルが発生している再生エネルギー（太陽光）による大型電源施設の整備方針を撤回すること。
- 2 国の「南海トラフ地震における具体的な応急対応活動に関する計画」に位置付けられている本市への大規模広域防災拠点の整備は、奈良県のみならず紀伊半島全域における住民の生命・財産を守るものであり、用地協力をした地権者や地元住民の意思を尊重し、当初の理念に従って整備を行うこと。
- 3 防災拠点に付随する国道168号バイパスは、防災機能の向上のみならず県南部地域の振興に寄与するものであることから、防災拠点に紐付けることなく整備を促進すること。